

第 79 回 東葛しぜん観察会

オオタカ舞う市野谷の森

川瀬美幸（柏市）

日 時：2012 年 4 月 1 日（日）9 時 30 分～12 時 天気：晴

場 所：市野谷の森（流山市）

参加者：一般 39 名（内 子ども 4 名） 指導員 23 名

担当指導員：大木陽子、川瀬美幸、渋谷孝子

流山市の目指している「都心から一番近い森のまち」。その森が今回の観察会の場所である市野谷の森です。つくばエクスプレス計画当初は住宅地にするべく大部分を伐採してしまう計画でしたが、市民活動によりオオタカの生息地（千葉県で初めて公表）である森を残そう、そしてオオタカの住む森の環境を子ども達へ引き継ごう、という熱い思いが行政や開発事業者を動かしたという経緯があります。市民の声が新市街地の街づくりにも反映されていて、現在工事中の市野谷調整池も水鳥が訪れる景観と環境に配慮した珍しいタイプの調整池になる予定です。街路樹も多くの種類が植えられて森や池を繋いでいく役目を果たす生き物達の道になることでしょう。そんな街の風景を見て歩くと、まもなく森の入り口に。参加者にとっては街と森が意外に近いことに驚いた様子です。

市野谷の森は都市公園の都市林として今後整備される予定ですが、現在の森の中はまだまだ手付かず、という状態です。でも「公園のように綺麗に整備されてしまうより、今のように鬱蒼としていた方が本来の森らしくていい」なんていう意見の方が多かったのが印象的でした。森の中や街路樹の所々に温度の定点観測装置が設けられていて、都市の中の森がもたらすヒートアイランド現象を緩和する効果などが市や大学によって調査されていることを知ってもらいました。

森の中は下見を何度かした際にも迷ってしまいそうな道が所々にあるので、注意深く誘導するように心がけました。埋土種子の観察場として刈払いし、ひらけた場所には、オニシバリが可愛い黄緑の花を咲かせていたり、シュンランがひかえめに花を咲かせている様子などを観察。また、いたるところにウサギのふんとシュンランの葉っぱ、ジャノヒゲをスパッと切ったような食べた跡なども観察することができました。下見の際には何度かオオタカの繁殖期にあげる「ケッケッケツ…」という大きな声を聞きましたが、当日は鳴き声も聞こえず、姿も見えず、少し残念でしたが、参加者は森の中の春の心地よい空気につつまれ楽しそうな様子でした。都市の中の森に癒されたひと時でした。このような素敵なか森を残すことが出来たという事実が素晴らしい事だと思いました。



イヌザクラの説明: こんな花が咲きます